

感謝をこめて、伝統を引き継いで

3月7日(木)「6年生を送る会」と「鼓笛移杖式」を行いました。昨年の春とは反対に、1年生に手を引かれ入場してきた6年生は、恥ずかしそうにしながらもどこか嬉しそうでした。佐藤昌哉君の児童代表あいさつで会が始まり、5年生が準備してくれたゲームで、楽しい一時を過ごしました。そして、後半では、6年生一人一人から「どんな中学生になりたいか」について発表がありました。また、在校生からのプレゼントを受け取った6年生はとても嬉しそうでした。そして、6年生からは、お礼に素敵なダンスの披露がありました。

鼓笛移杖式では、現鼓笛隊の演奏の後、主指揮を務めてきた佐藤菜央さんから、新たに主指揮を務める佐藤叶汰君に指揮棒が渡され、新鼓笛隊の演奏がありました。

これまで高郷小学校の顔として伝統を守り、やさしく全校生の面倒を見てくれた6年生に対して、感謝の気持ちと伝統を受け継ぐ思いを、しっかりと伝えることができた会になりました。

また、この会の計画・準備・運営は5年生が行いました。初めて全体を指揮し進める会でしたが、9名全員で協力して立派に運営することができました。これから高郷小学校の顔として活躍する準備ができたように感じました。



1年生と入場する6年生



プレゼントを渡す1年生



中学への抱負を述べる6年生



6年生の素敵なダンス



指揮棒の引き継ぎ

国際理解教育(上海ってどんなところ)

3月7日(木)に、国際理解教育の授業を全校生で行いました。講師は6年生担任の石倉先生です。石倉先生は上海日本人学校に3年間勤務した経験があり、上海で過ごした時の映像や写真をもとに中国の文化や上海日本人学校の様子について紹介してくれました。特に「ことば」「遊び」「季節の行事」「通貨」「衣装」「世界遺産」などの話しでは、子ども達は、からだを乗りだし興味津々で聞き入っていました。

また、中国から持ち帰ってきた雑貨や遊具、貨幣などの展示もあり、実際に手にとって中国の文化に触れることができました。

異文化について理解するととてもよい機会になりました。



展示された中国の雑貨など



中国ごまを習う子ども

